

総務産業常任委員会（意見交換会）報告書

令和7年10月15日

別海町議会議長 西 原 浩 様

総務産業常任委員長 今 西 和 雄

総務産業常任委員会で実施した意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 令和7年10月15日（水）13時00分から14時30分まで

2 開催場所

委員会室2・3

3 出席委員

今西委員長、宮越副委員長、戸田委員、佐藤委員、小椋委員、高橋委員、市川委員

4 欠席委員

松原委員

5 委員外

なし

6 内容

(1) 所管事務調査「ふるさと交流館周辺等の地域活性化拠点再生構想について」のうち、ふるさと交流館の再整備にかかる宿泊事業者との意見交換会の実施

①需要・ターゲットに関する意見について

- ・市街地は出張需要、尾岱沼は観光需要の傾向がある。ふるさと交流館の想定ターゲットの明確化が必要。
- ・客室不足で中標津へ流出している分を別海で受け止める必要がある。
- ・今は乳業メーカーの施設建設による特需状態であることも考慮した検討が必要。
- ・冬季の閑散期対策が不可欠（通年で人を呼ぶ仕掛け）。

②施設機能・コンセプトに関する意見について

- ・大人数が利用できる宴会場の復活を希望。
- ・地場産品の早朝・夜間の購買ニーズに応える仕組みがあると他の宿泊施設も助かる。

- ・別海町といえばここ、というランドマーク性のある施設が必要。
- ・ただ寝るだけではない、その施設でしか得られない体験・快適性を。
- ・既存の宿泊事業者と競合しにくいターゲットの差別化が必要。

③運営・経営に関する意見について

- ・黒字運営は必須。
- ・運営者を設計段階から関与させ、使いやすい動線・設備へ。
- ・単純な大規模宿泊施設は既存の宿泊施設への打撃になり得るため配慮と住み分けを。
- ・50年後も地域から必要とされ活用される施設となる計画で。子の世代に廃墟を残したくない。
- ・施設の運営と経営に人生をかけて真剣に取り組める人材を。

④人材・労務に関する意見について

- ・最大の課題は人材確保。経営陣、従業員とともに。
- ・サービスの品質を保てる人材の継続的確保・育成がカギ。
- ・「あの人に会いに行く」といったように人の魅力が宿泊施設の核となる。

⑤スポーツ合宿・実業団に関する意見について

- ・スポーツ合宿は宿泊の形態や必要とするものが多様で、民間施設では受け入れの手間が大きい。

⑥地域連携に関する意見について

- ・施設単体でなく町全体の滞在価値を高める視点での整備が必要。
- ・地域の日曜日の飲食サービスの空白を埋める提供体制を。